

[TOP page](#)
[資料室](#)
[イベント情報](#)
[講師を探す](#)
[Worker's 広場](#)
[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [自己啓発](#) | [賀川豊彦伝 \(3\)](#)
[労働組合](#)
[労働者福祉・共済](#)
[一般教養](#)
[社会保障](#)
[労使トラブル法律相談Q&A](#)
[労働関係法](#)
[経営全般](#)
[人間関係とコミュニケーション](#)
[ライフプラン](#)
[男女共同参画](#)
[公務員関係法](#)
[日朝の歴史](#)
[7つの習慣](#)
[中東の歴史](#)
[ボランティア活動](#)
[環境活動](#)
[社会貢献活動](#)
[自己啓発](#)
[生涯学習](#)
[外交・防衛問題](#)
[資本論](#)
[教育カリキュラム](#)
[日本国憲法](#)

賀川豊彦伝 (3)

東京帝国大学へ行くことを断った賀川は世話になっていた叔父の家から追い出されます。

明治学院に入学するまでの期間を宣教師の邸で暮らしたのち、明治学院高等部神学予科に入学した賀川は学生寮に住むこととなります。

豊彦は異常な読書ぶりでの他の学生を驚かせます。

彼の読書は、専門分野というようなものは全くなく、あえていうならば西洋の知識と文化の全分野に亘っていました。

とうとう彼は明治学院の図書館の本を全部読んでしまいます。

マルクス主義もまた彼の心を捉えました。

のちに彼は日本におけるマルキストと聞きましたが、その時にも問題点を指摘するのにしばしばマルクスを引用しています。

平和主義者としての賀川は、マルキストの暴力肯定と労働者階級の悲惨の克服手段としての階級闘争を拒否していたのです。

マルクスの哲学が置き去りにしていた人間活動の宗教的次元、内面における変化というものがないといけないのだと、彼は確信していました。

平和主義者賀川は、「世界平和論」を徳島毎日新聞に連載するなどして、辛辣な帝国主義批判を行いました。

1900年制定された治安警察法により賀川は何回も監視を受け、警察の尋問を受けました。

この法律は、その後の30年、日本が軍国主義の道を歩む過程で折々に強化されていきます。

1907年3月、明治学院予科を卒業したのち、彼は9月に新設される神戸神学校に入学することを決心します。入学前に、岡崎教会および長尾善牧師の豊橋協会にて伝道を手伝いますが、結核のため発熱喀血し病の床につきます。

この病中、彼は神秘的な臨死体験をし、その体験で彼は神の臨在を感じます。

転地療養のため海辺の孤独な小屋で療養しながら賀川は小説「死線を越えて」を執筆します。

健康状態が良くなって神戸の神学校での勉強を再開して間もなく、再度病状が悪化して危篤状態に陥ります。

この2回目の臨死体験で、賀川ははっきりと神と契約を結んだといいます。

この経験を如実に述べた小説が往年のベストセラー「死線を越えて」です。

(つづく)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

🔍 サイトマップ 🔍 このサイトについて 🔍 個人情報保護の取組みについて

🔍 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.